

防災コンポジット

いつ起こるか分からない災害に備えて、日頃から知っておいてほしい情報を紹介します。

詳細 危機管理対策室 ☎211-3062

今回は 災害発生時の避難を確認

夏から秋にかけて高まる洪水や土砂災害などの危険性。気象庁や札幌市が発令する避難情報を確認し、必要な場合は早めに避難することが大切です。避難所では新型コロナウイルス感染症の発生を踏まえて換気を徹底するほか、人と人との距離を広めに確保します。本当に避難所に行く必要がある方を適切に受け入れるため、皆様のご理解・ご協力をお願いします。

災害発生時は

新型コロナウイルス感染症を意識した避難行動を

① 自宅が安全な場合は在宅避難

安全な場所にいる方は、避難所へ行く必要はありません。地域の安全性を日頃からハザードマップで確認しておきましょう。最低3日分の食料品・飲料水や、ランタン、乾電池などの家庭の備蓄品を見直しておくことも大切です。

② 安全な親戚・友人宅などへの避難も検討

緊急時の避難先としてよいか事前に相談しておきましょう。安全な地域に住む方は、受け入れの検討をお願いします。

③ 安全が確保できないときは指定緊急避難場所へ

危険な地域にいて、難を逃れる手段がない方は、ためらわずに指定緊急避難場所へ避難してください。

☑ 地域の安全性が分かるハザードマップ

避難所や避難の流れを記載したハザードマップは、ホームページ、区役所(1ページ)などで配布中です。洪水、土砂災害など災害の種類に応じて作成しています。札幌市 ハザードマップ [検索](#)



☑ 感染症対策を踏まえた非常時持ち出し品

市の備蓄品には限りがあります。避難の際は、常備薬など自分に必要な物に加えて、以下の物を持参するようお願いします。

・マスク ・消毒液 ・体温計 ・スリッパ など

大雨の日は

テレビ・ラジオの「警戒レベル」に応じた行動を

災害発生時の危険度と取るべき行動を5段階で表した「警戒レベル」を確認しましょう。

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
最新情報に注意	避難行動を確認	危険な場所から高齢者などは避難 移動に時間がかかる人は避難	危険な場所から全員避難！ 自宅や親戚・友人宅、指定緊急避難場所など安全な場所へ

※レベル5は既に災害が発生している状況

広告